

えびかんクラシカル・コンサート 2023

4公演 12,000 円 (税込) !

4公演セット券は、海老名市文化会館のみで取扱い

4公演セット券 (限定 300 席)

2023 年 3 月 11 日 (土) 10 時 発売 ~ 4 月 13 日まで

えびなクラシカル・コンサート #54

4 月 15 日 (土) より発売

6 月 18 日 (日) 14:00 開演 (13:30 開場) 小ホール

ウィーン・フィル 第1コンサートマスター

フォルクハルト・シュトイデ

ヴァイオリン・リサイタル

三輪 郁 (ピアノ)

- モーツァルト：ヴァイオリン・ソナタ K.306
- ブ람ス：ヴァイオリン・ソナタ 第2番 Op.100
- チャイコフスキー：懐しい土地の想いで
- プロコフィエフ：「ロメオとジュリエット」から

全席指定 4,000 円 (税込)



えびなクラシカル・コンサート #55

6 月 10 日 (土) より発売

10 月 9 日 (月・祝) 14:00 開演 (13:30 開場) 小ホール

ジュネーヴ国際コンクール優勝 (2021、日本人初)

上野通明 & 北村朋幹

デュオ・リサイタル

- ベートーヴェン：チェロ・ソナタ 第1番 Op.5-1
- ショスタコーヴィチ：チェロ・ソナタ Op.40
- ヤナーチェク：おとぎ話
- ブ람ス：チェロ・ソナタ 第2番 Op.99

全席指定 4,000 円 (税込)



えびなクラシカル・コンサート #56

7 月 15 日 (土) より発売

11 月 18 日 (土) 14:00 開演 (13:30 開場) 小ホール

大阪国際室内楽コンクール 2023 (第1部門)

優勝クアルテット

出演クアルテットは、2023 年 5 月 18 日の本選で決定します。

(出演者・曲目等は、決定次第HPにて発表します。)

全席指定 3,000 円 (税込)



えびなクラシカル・コンサート #57

10 月 7 日 (土) より発売

2024 年 3 月 9 日 (土) 14:00 開演 (13:30 開場) 大ホール

卓越したテクニック、たおやかな詩情

仲道 郁代

ピアノ・リサイタル

- ショパン：
バラード 第3番 Op.47 / バラード 第4番 Op.52
ポロネーズ 第6番 Op.53「英雄」 ほか

全席指定 S 3,000 円

A 2,000 円 (税込)



* 都合により、曲目・出演者等は変更されることがあります。

未就学児の入場はお断りします。

4公演とも 学生 (25 歳以下) 当日 1,000 円 (税込)

(前売はありません / 要学生証)

主催：海老名楽友協会

公益財団法人日本室内楽振興財団 (11/18)

共催：海老名市文化会館

後援：F M カオン

詳細に関する問合せ：海老名楽友協会 ☎ 090-2404-6832 (平井)

チケットのお申込み：海老名市文化会館 ☎ 046-232-3231

えびなクラシカル・コンサート 2023

folkハルト・シュティデ

1971年ライブツィヒ生まれ。5歳よりヴァイオリンを学び88年からはベルリン・ハンス・アイスラー音楽大学にてヨアヒム・シュルツとヴェルナー・シュルツの下で学んだ。国際コンクールで受賞を重ね、93年にはグスタフ・マーラー・ユゲントオーケストラの第1コンサートマスターになった。94年にベルリンの大学でディプロム取得の後、ウィーンに移りアルフレート・シュタールの下で更に研鑽を積んだ。94年にはウィーン国立歌劇場管弦楽団のコンサートマスターに弱冠23歳で就任、2000年からはウィーン・フィルの第1コンサートマスターをも務め、ジュゼッペ・シノーポリやダニエル・バレンボイムなどの指揮によりソリストとしても共演している。室内楽にも熱心に取り組んでおり、02年からはウィーン・フィルのメンバーで構成される室内楽アンサンブル、ウィーン・ヴィルトゥオーゼンのコンサートマスターも務めた。また同じく2002年にシュティデ弦楽四重奏団が結成され、ウィーン楽友協会が定期演奏会を開催するほか、ヨーロッパ内及び日本で度々ツアーを行うなど、その活動は非常に注目を集めた。使用楽器は、1718年製のアントニウス・ストラディヴァリウス（ヴィオッティ、ロゼらがかつて所有）で、オーストリア国立銀行より貸与されている。16年には広島響よりミュージック・パートナーの称号を授与された。

上野 通明

パラグアイで生まれ、幼少期をスペインのバルセロナで過ごした。13歳の時、若い音楽家のためのチャイコフスキー国際コンクールで全部門を通じて日本人初の優勝、以後ルーマニア国際コンクール最年少第1位、ヨハネス・ブラームス国際コンクール優勝、ヴィルト・ルトスワフスキ国際チェロコンクール第2位等を受賞、21年にはジュネーヴ国際コンクールのチェロ部門で日本人初の優勝を果たし、併せて3つの特別賞をも受賞した。次々と国際舞台で活躍し、これまでソリストとしてワルシャワ国立フィル団、スイス・ロマンダ管、ロシア響、KBS響、読売日響、新日本フィルなど国内外のオーケストラと数多く共演している。また、ジャン＝ギャン・ケラス、ダニエル・ゼベック、堤剛、諏訪内晶子等の著名アーティストと共演して好評を博している。使用楽器は1758年製P.A.Testore(宗次コレクション)で、弓は匿名のコレクターよりF.Tourteを、それぞれ貸与されている。

北村 朋幹

1991年愛知県生まれ。3歳よりピアノを始め、浜松国際ピアノコンクール第3位(2006)、シドニー国際ピアノ・コンクール第5位ならびに3つの特別賞(2008)、リーズ国際ピアノ・コンクール第5位(2015)、ベートーヴェン国際ピアノ・コンクール第2位(2017)などを受賞した。日本国内、ドイツをはじめとするヨーロッパ各地で、オーケストラの定期演奏会への出演、ソロリサイタル、室内楽、また古楽器による演奏活動を定期的に行い、その演奏は「類稀なる時間の感覚。まるで素晴らしい指揮者によるオーケストラの演奏を聴いているよう(パヴェル・ギリロフ)」などと評されている。録音は「遙かなる恋人に寄す—シューマン「幻想曲」からの展望—」(2011)、「夜の肖像」(2014)、「Bagatellen」(2019)、「ケージブリペアド・ピアノのためのソナタとインターリュード」(2021)等がフォンテックから発売され、レコード芸術をはじめとする主要紙において好評を得ている。現在はフランクフルト音楽・舞台芸術大学に於いてイエスパー・クリステンセン氏の下、歴史的奏法の研究に取り組んでいる。

仲道 郁代

桐朋学園大学1年在学中に、第51回日本音楽コンクール第1位、併せて増沢賞を受賞し注目を集めた仲道郁代は、数々の国内外での受賞を経て、1987年ヨーロッパと日本で本格的な演奏活動をスタートさせた。これまでに日本の主要オーケストラと共演した他、海外のオーケストラとの共演も数多く、マゼール指揮ピッツバーグ交響楽団、バイエルン放送交響楽団及びフィルハーモニア管弦楽団などのソリストとして迎えられ、その音楽性に高い評価を得ている。リサイタルも日本各地で行っており、97年から行った「ベートーヴェンのピアノ・ソナタ全曲演奏会」は、2回目のサイクルを終了。2004年からは「ベートーヴェン・ピアノ協奏曲全曲演奏会」を、05年からはベートーヴェンの室内楽コンサートを行っている。特に、ピアノ協奏曲は、パーヴォ・ヤルヴィ指揮ドイツ・カンマーフィルハーモニーとの共演で、全6曲がレコーディングとして結実しており、「ベートーヴェン弾き、仲道郁代」という評価を確固たるものとしている。レコーディングはBMG JAPANと専属契約を結び、多数のCDをリリース。ベートーヴェンピアノ・ソナタ第30.31.32番は、2007年度第45回レコード・アカデミー賞(器楽曲部門)を受賞。著作には、DVDブック『至福のピアノ〜弾く・聴く・楽しむ』(講談社刊)、編著には、『CDでわかるピアノの名器と名曲』(ナツメ社刊)等がある。

アクセス & チケット取扱い

海老名市文化会館

〒243-0438 海老名市めぐみ町6番1号

TEL 046-232-3231 (10:00~17:30)

* 相鉄線・小田急線「海老名」駅西口より徒歩5分

* JR相模線「海老名」駅より徒歩5分



ご来館の際は、公共交通機関をご利用ください!